



河道技術部会 資料

ご議論いただきたいポイント

平成30年10月21日

近畿地方整備局 福井河川国道事務所

1. 本川と湿地との連続性の確保
 - ・開口部の土砂堆積
 - ・自然の営力により小堤の一部が変状
2. 湿地深場の底質の変化
 - ・湿地深場が出水により深くなっており、また粘性土から砂質土に変化している
3. 湿地周辺の樹林化
 - ・一部ではあるが、既にヤナギの実生が繁茂している
4. モニタリングの考え方
 - ・第5回河道技術部会での考え方の継続で問題ないか
5. 現時点の片粕地区湿地の状況から考えられる、他箇所への湿地創出にあたっての留意点
 - ・今後、久喜津地区、朝宮地区に展開していく上で留意すべきこと